

資料3 ステンレス鋼溶接材料に対する算出例

溶接工程用作業シート【算出例】：廃棄物を事業所外への移動とした場合の作業シート

本算出例では、ヒュームについては移動量が把握できる場合は「土壌への排出及び廃棄物」、移動量が把握できない場合は「大気への排出」として、スラグ、スパッタ及び残材についてはすべて「廃棄物」として算出しています。

この作業シートは、溶接工程における指定化学物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです。

- (工程) 溶接材料YF316L, 1.2mm, 12.5kgスプール巻きワイヤをシールドガスCO₂を用いて溶接
- 溶接材料Y316L, 1.2mm, 20kgスプール巻きワイヤをシールドガスAr + 2%O₂を用いて溶接
- 溶接材料B309L, 0.4mm×50mm×60kg及びフラックスFBSS-B, 20kgを用いて肉盛溶接

指定化学物質及びそれを取り扱う工程の名称		(1)溶接材料に含まれる指定化学物質の年間取扱量の算出					(2)残材中に含まれる指定化学物質の含有量の算出		(3)指定化学物質の溶接による製造品としての搬出量の算出			(4)指定化学物質のヒュームとしての排出量及び移動量の算出		
指定化学物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる指定化学物質名 B	Bを含む溶接材料の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	残材率 % H	残材中のBの含有量 kg/年 I =F×H÷100	C中のBの溶着金属への移行率 % J	C中のBの製造品としての搬出量 kg/年 K =(F-I)×J÷100	Bの製造品としての搬出量の合計 kg/年 L (Kの合計)	Bのヒュームへの移行率 % M	Bのヒュームとしての移動量及び排出量 kg/年 N =(F-I)×M÷100	
溶接	クロム及び3価クロム化合物	Osten GC316L	10,000	18	1,800	3,700	0.15	2.7	90	1,617.57	3,419.86	0.4	7.19	
	クロム及び3価クロム化合物	Osten M316L	10,000	19	1,900		0.15	2.85	95	1,802.29		0.4	7.59	

溶接材料のMSDS 2項の値を用いてください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表1-1, 1-2及び1-3をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表2をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表3をご利用ください。

(5)指定化学物質の環境への排出量の算出		(6)廃棄物に含まれる量の算出										
水域への排出量 kg/年 O	0	ヒュームの土壌への排出率 % P	Bの残材を含めた廃棄物としての移動量 kg/年 R =F-K-Q									
X及びYへ記入 または AF及びAGへ記入		<table border="1"> <tr> <th>ヒュームの土壌への排出率 % P</th> <th>Bのヒュームとしての土壌への排出量 kg/年 Q =N×P÷100</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0.07</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.08</td> </tr> </table>	ヒュームの土壌への排出率 % P	Bのヒュームとしての土壌への排出量 kg/年 Q =N×P÷100	1	0.07		0.08	<table border="1"> <tr> <th>Bの残材を含めた廃棄物としての移動量 kg/年 R =F-K-Q</th> </tr> <tr> <td>182.36</td> </tr> <tr> <td>97.63</td> </tr> </table>	Bの残材を含めた廃棄物としての移動量 kg/年 R =F-K-Q	182.36	97.63
ヒュームの土壌への排出率 % P	Bのヒュームとしての土壌への排出量 kg/年 Q =N×P÷100											
1	0.07											
	0.08											
Bの残材を含めた廃棄物としての移動量 kg/年 R =F-K-Q												
182.36												
97.63												
		<table border="1"> <tr> <th>Bのヒュームとしての大気への排出量 kg/年 S =N</th> </tr> <tr> <td>7.19</td> </tr> <tr> <td>7.59</td> </tr> </table>	Bのヒュームとしての大気への排出量 kg/年 S =N	7.19	7.59	<table border="1"> <tr> <th>Bの残材を含めた廃棄物としての移動量 kg/年 T =F-K-S</th> </tr> <tr> <td>175.24</td> </tr> <tr> <td>90.12</td> </tr> </table>	Bの残材を含めた廃棄物としての移動量 kg/年 T =F-K-S	175.24	90.12			
Bのヒュームとしての大気への排出量 kg/年 S =N												
7.19												
7.59												
Bの残材を含めた廃棄物としての移動量 kg/年 T =F-K-S												
175.24												
90.12												

貴社のデータをご使用ください。

(7)本工程における排出量、移動量の集計							
本作業シートで算出した大気、水域、土壌への排出量及び廃棄物に含まれる量を届出の分類にわけて集計してください。							
(7A)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合 (廃棄物を当該事業所の外へ移動している場合)							
物質番号	指定化学物質名	大気への排出量 大気への排出 kg/年 W	水域への排出量 公共用水域への排出 kg/年 X	下水道への移動 kg/年 Y	土壌への排出量 当該事業所における土壌への排出 kg/年 Z =Q	廃棄物に含まれる量 当該事業所の外への移動 kg/年 AA =R	当該事業所における埋立処分 kg/年 AB
U	V =B						
68	クロム及び3価クロム化合物	0.0	0.0	0.0	0.07	182.36	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.08	97.63	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	合計	0.0	0.0	0.0	0.15	279.99	0.0
(7B)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合 (廃棄物を当該事業所の外へ移動している場合)							
物質番号	指定化学物質名	大気への排出量 大気への排出 kg/年 AE =S	水域への排出量 公共用水域への排出 kg/年 AF	下水道への移動 kg/年 AG	土壌への排出量 当該事業所における土壌への排出 kg/年 AH	廃棄物に含まれる量 当該事業所の外への移動 kg/年 AI =T	当該事業所における埋立処分 kg/年 AJ
AC	AD =B						
68	クロム及び3価クロム化合物	7.19	0.0	0.0	0.0	175.24	0.0
		7.59	0.0	0.0	0.0	90.12	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	合計	14.78	0.0	0.0	0.0	265.36	0.0

本作業シートでは、溶接工程における水域への排出量は「0」とみなし、算出しております。貴社のデータがある場合は、そのデータをご利用ください。残材を廃棄物以外として、取り扱いされる場合は、廃棄物に含まれる合計値から「残材中の含有量：I」を差し引くようお願いいたします。

資料3 ステンレス鋼溶接材料に対する算出例

溶接工程用作業シート【算出例】：廃棄物を事業所外への移動とした場合の作業シート

本算出例では、ヒュームについては移動量が把握できる場合は「土壌への排出及び廃棄物」、移動量が把握できない場合は「大気への排出」として、スラグ、スパッタ及び残材についてはすべて「廃棄物」として算出しています。

この作業シートは、溶接工程における指定化学物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです。

- (工程) 溶接材料YF316L, 1.2mm, 12.5kgスプール巻きワイヤをシールドガスCO₂を用いて溶接
- 溶接材料Y316L, 1.2mm, 20kgスプール巻きワイヤをシールドガスAr + 2%O₂を用いて溶接
- 溶接材料B309L, 0.4mmt x 50mmw x 60kg及びフラックスFBSS-B, 20kgを用いて肉盛溶接

指定化学物質及びそれを取り扱う工程の名称		(1)溶接材料に含まれる指定化学物質の年間取扱量の算出					(2)残材中に含まれる指定化学物質の含有量の算出		(3)指定化学物質の溶接による製造品としての搬出量の算出			(4)指定化学物質のヒュームとしての排出量及び移動量の算出		
指定化学物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる指定化学物質名 B	Bを含む溶接材料の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D x E ÷ 100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	残材率 % H	残材中のBの含有量 kg/年 I =F x H ÷ 100	C中のBの溶着金属への移行率 % J	C中のBの製造品としての搬出量 kg/年 K =(F-I) x J ÷ 100	Bの製造品としての搬出量の合計 kg/年 L (Kの合計)	Bのヒュームへの移行率 % M	Bのヒュームとしての移動量及び排出量 kg/年 N =(F-I) x M ÷ 100	
溶接	ニッケル	Osten GC316L	10,000	11	1,100	2,400	0.15	1.65	98	1,076.38	2,348.47	0.2	2.20	
	ニッケル	Osten M316L	10,000	13	1,300		0.15	1.95	98	1,272.09		0.2	2.60	

溶接材料のMSDS 2項の値を用いてください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表1-1, 1-2及び1-3をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表2をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表3をご利用ください。

(5)指定化学物質の環境への排出量の算出		(6)廃棄物に含まれる量の算出																	
水域への排出量 kg/年 O	0	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合</th> </tr> <tr> <td>ヒュームの土壌への排出率 % P</td> <td>Bのヒュームとしての土壌への排出量 kg/年 Q =N x P ÷ 100</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0.02</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.03</td> </tr> </table>	ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合		ヒュームの土壌への排出率 % P	Bのヒュームとしての土壌への排出量 kg/年 Q =N x P ÷ 100	1	0.02		0.03	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">Bの残材を含めた廃棄物としての移動量</th> </tr> <tr> <td>kg/年 R =F-K-Q</td> <td></td> </tr> <tr> <td>23.60</td> <td></td> </tr> <tr> <td>27.89</td> <td></td> </tr> </table>	Bの残材を含めた廃棄物としての移動量		kg/年 R =F-K-Q		23.60		27.89	
ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合																			
ヒュームの土壌への排出率 % P	Bのヒュームとしての土壌への排出量 kg/年 Q =N x P ÷ 100																		
1	0.02																		
	0.03																		
Bの残材を含めた廃棄物としての移動量																			
kg/年 R =F-K-Q																			
23.60																			
27.89																			
X及びYへ記入 または AF及びAGへ記入		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合</th> </tr> <tr> <td>Bのヒュームとしての大気への排出量 kg/年 S =N</td> <td>Bの残材を含めた廃棄物としての移動量 kg/年 T =F-K-S</td> </tr> <tr> <td>2.20</td> <td>21.42</td> </tr> <tr> <td>2.60</td> <td>25.31</td> </tr> </table>	ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合		Bのヒュームとしての大気への排出量 kg/年 S =N	Bの残材を含めた廃棄物としての移動量 kg/年 T =F-K-S	2.20	21.42	2.60	25.31									
ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合																			
Bのヒュームとしての大気への排出量 kg/年 S =N	Bの残材を含めた廃棄物としての移動量 kg/年 T =F-K-S																		
2.20	21.42																		
2.60	25.31																		

貴社のデータをご使用ください。

(7)本工程における排出量、移動量の集計							
本作業シートで算出した大気、水域、土壌への排出量及び廃棄物に含まれる量を届出の分類にわけて集計してください。							
(7A)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合 (廃棄物を当該事業所の外へ移動している場合)							
物質番号	指定化学物質名	大気への排出量 大気への排出 kg/年 W	水域への排出量 公共用水域への排出 kg/年 X	下水道への移動 kg/年 Y	土壌への排出量 当該事業所における土壌への排出 kg/年 Z =Q	廃棄物に含まれる量 当該事業所の外への移動 kg/年 AA =R	当該事業所における埋立処分 kg/年 AB
U	V =B						
231	ニッケル	0.0	0.0	0.0	0.02	23.60	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.03	27.89	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	合計	0.0	0.0	0.0	0.05	51.48	0.0
(7B)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合 (廃棄物を当該事業所の外へ移動している場合)							
物質番号	指定化学物質名	大気への排出量 大気への排出 kg/年 AE =S	水域への排出量 公共用水域への排出 kg/年 AF	下水道への移動 kg/年 AG	土壌への排出量 当該事業所における土壌への排出 kg/年 AH	廃棄物に含まれる量 当該事業所の外への移動 kg/年 AI =T	当該事業所における埋立処分 kg/年 AJ
AC	AD =B						
231	ニッケル	2.20	0.0	0.0	0.0	21.42	0.0
		2.60	0.0	0.0	0.0	25.31	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	合計	4.79	0.0	0.0	0.0	46.74	0.0

本作業シートでは、溶接工程における水域への排出量は「0」とみなし、算出してあります。貴社のデータがある場合は、そのデータをご利用ください。残材を廃棄物以外として、取り扱いされる場合は、廃棄物に含まれる合計値から「残材中の含有量：I」を差し引くようお願いいたします。

資料3 ステンレス鋼溶接材料に対する算出例

溶接工程用作業シート【算出例】:廃棄物を事業所外への移動とした場合の作業シート

本算出例では、ヒュームについては移動量が把握できる場合は「土壌への排出及び廃棄物」、移動量が把握できない場合は「大気への排出」として、スラグ、スパッタ及び残材についてはすべて「廃棄物」として算出しています。

この作業シートは、溶接工程における指定化学物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです。

- (工程) 溶接材料YF316L, 1.2mm, 12.5kgスプール巻きワイヤをシールドガスCO₂を用いて溶接
- 溶接材料Y316L, 1.2mm, 20kgスプール巻きワイヤをシールドガスAr + 2%O₂を用いて溶接
- 溶接材料B309L, 0.4mm×50mm×60kg及びフラックスFBSS-B, 20kgを用いて肉盛溶接

指定化学物質及びそれを取り扱う工程の名称		(1)溶接材料に含まれる指定化学物質の年間取扱量の算出					(2)残材中に含まれる指定化学物質の含有量の算出		(3)指定化学物質の溶接による製造品としての搬出量の算出			(4)指定化学物質のヒュームとしての排出量及び移動量の算出		
指定化学物質を含む原材料, 資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料, 資材等に含まれる指定化学物質名 B	Bを含む溶接材料の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	残材率 % H	残材中のBの含有量 kg/年 I =F×H÷100	C中のBの溶着金属への移行率 % J	C中のBの製造品としての搬出量 kg/年 K =(F-I)×J÷100	Bの製造品としての搬出量の合計 kg/年 L (Kの合計)	Bのヒュームへの移行率 % M	Bのヒュームとしての移動量及び排出量 kg/年 N =(F-I)×M÷100	
溶接	マンガン及びその化合物	Osten GC316L	10,000	2.5	250	450	0.15	0.375	60	149.78	329.51	4.5	11.23	
	マンガン及びその化合物	Osten M316L	10,000	2.0	200		0.15	0.3	90	179.73		2.0	3.99	

溶接材料のMSDS 2項の値を用いてください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表1-1, 1-2及び1-3をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表2をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表3をご利用ください。

(5)指定化学物質の環境への排出量の算出		(6)廃棄物に含まれる量の算出	
水域への排出量 kg/年 O	0	ヒュームの土壌への排出率 % P	Bの残材を含めた廃棄物としての移動量 kg/年 R =F-K-Q
X及びYへ記入 または AF及びAGへ記入		ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合 (5A) Bのヒュームとしての土壌への排出量 kg/年 Q =N×P÷100	ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合 (5B) Bのヒュームとしての大気への排出量 kg/年 S =N
		1 0.11 0.04	100.11 20.23
			88.99 16.28

貴社のデータをご使用ください。

(7)本工程における排出量, 移動量の集計							
本作業シートで算出した大気, 水域, 土壌への排出量及び廃棄物に含まれる量を届出の分類にわけて集計してください。							
(7A)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合 (廃棄物を当該事業所の外へ移動している場合)							
物質番号	指定化学物質名	大気への排出量 kg/年 W	水域への排出量 kg/年 X	下水道への移動 kg/年 Y	土壌への排出量 kg/年 Z =Q	廃棄物に含まれる量 kg/年 AA =R	当該事業所における埋立処分 kg/年 AB
U	V =B						
		0.0	0.0	0.0	0.11	100.11	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.04	20.23	0.0
311	マンガン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	0.0	0.0	0.0	0.15	120.34	0.0
(7B)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合 (廃棄物を当該事業所の外へ移動している場合)							
物質番号	指定化学物質名	大気への排出量 kg/年 AE =S	水域への排出量 kg/年 AF	下水道への移動 kg/年 AG	土壌への排出量 kg/年 AH	廃棄物に含まれる量 kg/年 AI =T	当該事業所における埋立処分 kg/年 AJ
AC	AD =B						
		11.23	0.0	0.0	0.0	88.99	0.0
		3.99	0.0	0.0	0.0	16.28	0.0
311	マンガン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	15.23	0.0	0.0	0.0	105.27	0.0

本作業シートでは、溶接工程における水域への排出量は「0」とみなし、算出してあります。貴社のデータがある場合は、そのデータをご利用ください。残材を廃棄物以外として、取り扱いされる場合は、廃棄物に含まれる合計値から「残材中の含有量:」を差し引くようお願いいたします。

資料3 ステンレス鋼溶接材料に対する算出例

溶接工程用作業シート【算出例】：廃棄物を事業所外への移動とした場合の作業シート

本算出例では、ヒュームについては移動量が把握できる場合は「土壌への排出及び廃棄物」、移動量が把握できない場合は「大気への排出」として、スラグ、スパッタ及び残材についてはすべて「廃棄物」として算出しています。

この作業シートは、溶接工程における指定化学物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです。

- (工程) 溶接材料YF316L, 1.2mm, 12.5kgスプール巻きワイヤをシールドガスCO₂を用いて溶接
- 溶接材料Y316L, 1.2mm, 20kgスプール巻きワイヤをシールドガスAr + 2%O₂を用いて溶接
- 溶接材料B309L, 0.4mmt x 50mmw x 60kg及びフラックスFBSS-B, 20kgを用いて肉盛溶接

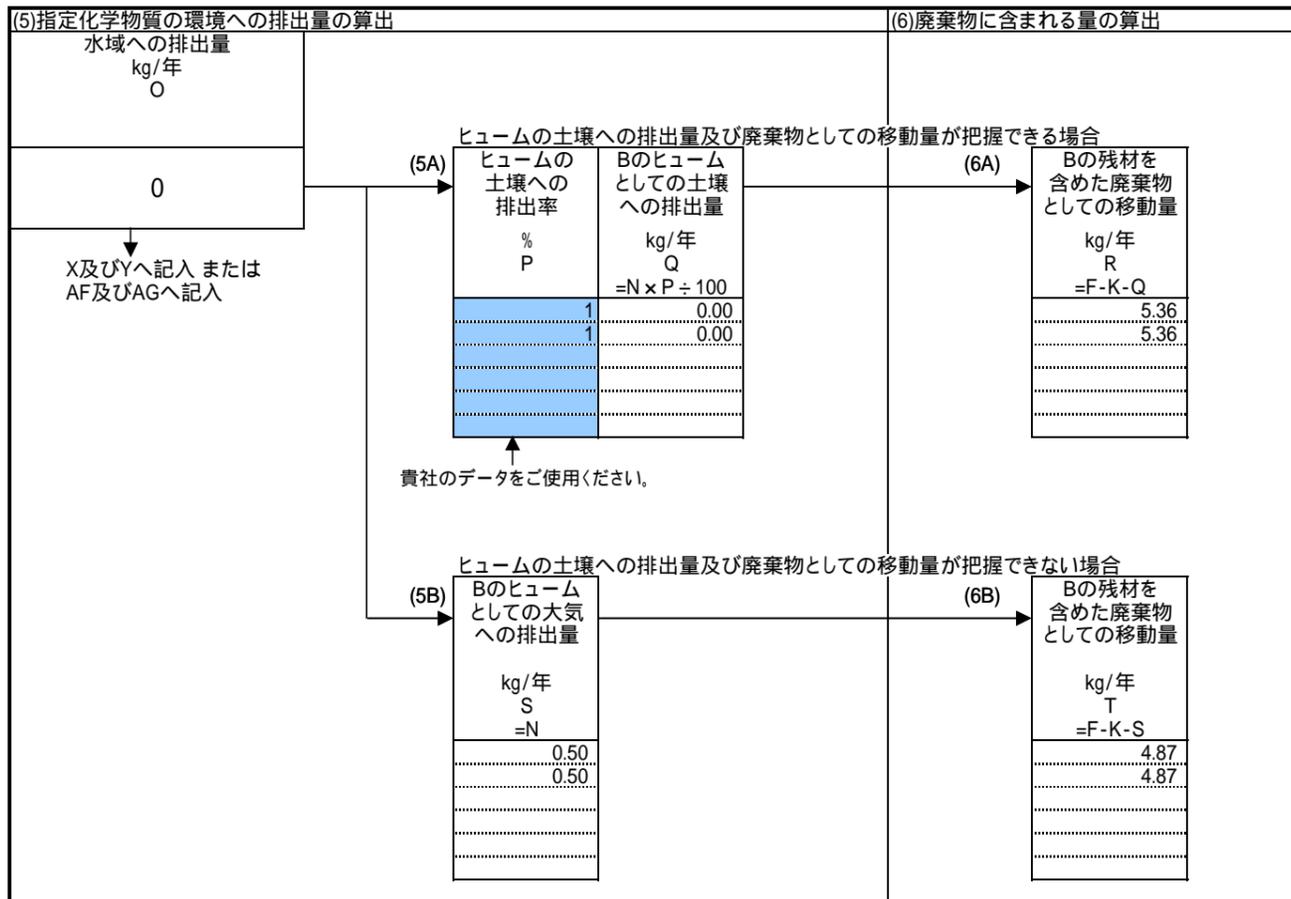
指定化学物質及びそれを取り扱う工程の名称		(1)溶接材料に含まれる指定化学物質の年間取扱量の算出					(2)残材に含まれる指定化学物質の含有量の算出		(3)指定化学物質の溶接による製造品としての搬出量の算出			(4)指定化学物質のヒュームとしての排出量及び移動量の算出	
指定化学物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる指定化学物質名 B	Bを含む溶接材料の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D x E ÷ 100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	残材率 % H	残材中のBの含有量 kg/年 I =F x H ÷ 100	C中のBの溶着金属への移行率 % J	C中のBの製造品としての搬出量 kg/年 K =(F-I) x J ÷ 100	Bの製造品としての搬出量の合計 kg/年 L (Kの合計)	Bのヒュームへの移行率 % M	Bのヒュームとしての移動量及び排出量 kg/年 N =(F-I) x M ÷ 100
溶接	モリブデン及びその化合物	Osten GC316L	10,000	2.5	250	500	0.15	0.375	98	244.63	489.27	0.2	0.50
	モリブデン及びその化合物	Osten M316L	10,000	2.5	250		0.15	0.375	98	244.63		0.2	0.50

溶接材料のMSDS 2項の値を用いてください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表1-1, 1-2及び1-3をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表2をご利用ください。

貴社でデータをお持ちでない場合別表3をご利用ください。



(7)本工程における排出量、移動量の集計
本作業シートで算出した大気、水域、土壌への排出量及び廃棄物に含まれる量を届出の分類にわけて集計してください。

(7A)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できる場合
(廃棄物を当該事業所の外へ移動している場合)

物質番号	指定化学物質名	排出量			廃棄物に含まれる量		
		大気への排出 kg/年 W	公共用水域への排出 kg/年 X	下水道への移動 kg/年 Y	当該事業所における土壌への排出 kg/年 Z =Q	当該事業所の外への移動 kg/年 AA =R	当該事業所における埋立処分 kg/年 AB
U	V =B						
346	モリブデン及びその化合物	0.0	0.0	0.0	0.00	5.36	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.00	5.36	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	0.0	0.0	0.0	0.01	10.73	0.0

(7B)ヒュームの土壌への排出量及び廃棄物としての移動量が把握できない場合
(廃棄物を当該事業所の外へ移動している場合)

物質番号	指定化学物質名	排出量			廃棄物に含まれる量		
		大気への排出 kg/年 AE =S	公共用水域への排出 kg/年 AF	下水道への移動 kg/年 AG	当該事業所における土壌への排出 kg/年 AH	当該事業所の外への移動 kg/年 AI =T	当該事業所における埋立処分 kg/年 AJ
AC	AD =B						
346	モリブデン及びその化合物	0.50	0.0	0.0	0.0	4.87	0.0
		0.50	0.0	0.0	0.0	4.87	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	1.00	0.0	0.0	0.0	9.74	0.0

本作業シートでは、溶接工程における水域への排出量は「0」とみなし、算出しております。貴社のデータがある場合は、そのデータをご利用ください。残材を廃棄物以外として、取り扱いされる場合は、廃棄物に含まれる合計値から「残材中の含有量:I」を差し引くようお願いします。

